

金田町長が「よかボス宣言」

働きやすい職場環境づくりのために

自ら仕事と生活の充実に取り組むとともに、職員の仕事と生活の充実を応援し、さらには町全体に広げるため、金田町長が「よかボス宣言」を行いました。これは、県が実施している事業の一つで、企業や団体のトップが、社員の仕事と結婚や子育て・介護など充実した生活ができるように応援すると宣言するものです。町内では、13事業所が同宣言を行い、取り組んでいます(昨年11月29日現在)。仕事と子育ての両立支援や働きやすい職場環境づくりのため、あなたの企業でも「よかボス宣言」をしませんか。



「よかボス宣言」を行う金田町長

炎で無病息災に！

伝統行事の「児童館どんどや」を開催

「児童館どんどや」が地域組織活動クラブと南杉水人権のまちづくり協議会との合同開催で1月8日、町人権啓発福祉センター児童館グラウンドで行われました。これは、正月飾りなどを家々から持ち寄り、積み上げ燃やすことで、無病息災を祈る地域行事で毎年行っているものです。グラウンドでは新年のあいさつがところどころで聞こえ、感染症対策を行いながら町内外の約200人が集まり、燃え盛る火に新型コロナウイルス感染症の収束を願っていました。



パチン！と竹の破裂する大きな音も響いていました

地域の魅力をポスターに

静岡県浜松学芸高等学校との交流

静岡県の浜松学芸高等学校普通科地域創造コース生徒45人が昨年11月29日、町役場を訪問し交流会を行いました。浜松学芸高等学校とは、熊本地震への支援「熊本大分復興支援産学連携プロジェクト」の一環として、浜松学芸高等学校の文化祭で模擬店出店や募金活動で集めた義援金などの支援をいただいたつながりがあり、今回は修学旅行を機会に交流を行いました。浜松学芸高校の生徒が町内の神社などを散策し、高校生の日常の目線で見た地元に眠る心象風景を表現した地域PRポスターを作成し、町に贈呈しました。



浜松学芸高等学校のみなさん、ありがとうございます！
作品は、町役場1階ロビーに展示しています(2月末まで)

差別や障がいになんか負けない、つかんだ夢

東京パラリンピックに出場した平井孝明さん来校

東京2020パラリンピック日本代表で出場した平井孝明さんの講演会が昨年12月16日、室小学校で行われました。平井さんの講話では、「人より3回多くやる」という努力を続けて勝ち取ったパラリンピック出場の軌跡を話しました。平井さんが伝えたい3つのこととして、「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」「継続は力なり」「周りの人への感謝」とメッセージを残しました。5年生を代表して、後藤幹英さんは「物事がうまくいかなくてもあきらめないで行こうと思いました」と話し、感謝の気持ちを伝えました。



県立盲学校の教諭でもある平井さんから受け身を教わる児童

「蹴念」の思いが決勝へと導く

第100回全国高校サッカー選手権大会で初の準優勝

第100回全国高校サッカー選手権大会が昨年12月28日～1月10日で行われました。県立大津高等学校(以下、大津高)は、3年ぶりに18度目の全国大会出場を果たし、大津高サッカー部の歴代最高記録、県勢初の準優勝と快挙を成し遂げました。10日の決勝では、青森山田高等学校(青森県)との試合に0-4で悔しくも優勝を逃しました。町文化ホールではパブリックビューイングを行い、大津高の生徒会を初めとした生徒たちや町民が約120人程度集まり、感染症防止のため声を出さずに、画面越しにエールを送りました。



準優勝おめでとうございます！



光触媒スプレーで感染症対策

ダイナム熊本大津店から室小学校に寄贈

室小学校区内にあるダイナム熊本大津店から室小学校に光触媒スプレー23本の寄贈が昨年12月27日にありました。これは、(株)ダイナムが積極的に推進する社会貢献活動の一環として行われたものです。机や椅子などを光触媒コーティングすることで、光の力でウイルスなどを分解・無害化する効果があり、一回の使用で約3～5年間持続効果があります。寄贈を受けた室小学校では、「子どもたちが安心して生活するために寄贈していただきありがとうございます」と感謝の言葉を伝えました。



室小学校 村田典子校長(左)、
(株)ダイナム熊本大津店 船曳将彦店長(右)

校舎内の机や椅子
などに使用

年越しフードパントリーを開催

支援が必要な世帯への食料の配布を実施

年越しフードパントリーを昨年12月29日・30日、町生涯学習センターで行いました。29日は生活に支援が必要なひとり親家庭やコロナ禍において生活に困っている人、30日はフードロス削減に協力してくださる人を対象として2日間で合計330世帯に食品など配布をしました。今回から、町内の郵便局でも食品の寄付を受け入れる「フードポスト」を設置しました。たくさんの町民の人や企業より寄付をいただきました。今後もフードロスを減らして「もったいない」を「ありがとう」へつなぐ活動を積極的に取り組んでいきます。



町生涯学習センター入口で食品を配布しました